

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金対象事業

令和2年度分事業評価

令和4年3月

安八町

はじめに

新型コロナウイルス感染症の拡大により、町民の活動は制限され、地域の経済にも大きな影響を与えています。

感染症拡大防止と地域経済回復のため、中でも様々なコロナ対策事業を行ってきました。

なかでも、国の「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策に基づく、国庫補助金「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」対象事業について事業評価を行います。

事業計画の考え方

事業計画の策定については、住民みなさまの安全安心を守ることを優先として計画しています。令和2年度の計画としては、コロナ禍における分散避難を可能とする施策を優先して計画して実行しております。

その他、学校やこども園などの子供の生活を守るための感染症対策を実施するとともに、子育て世代や、生活に困っている方に給付を行う事業を実施させていただきました。

事業の選定につきましては、財政状況も鑑み、多くの事業を計画し予算化することが困難なため、臨時交付金を有効に活用させていただき財政の影響を最小限とするように努めました。

交付金の活用状況

令和2年度交付決定額	第1次	74,990 千円
	第2次	177,498 千円
	第3次	90,470 千円
	計	342,958 千円
	本省繰越額	87,286 千円
令和2年度実施事業充当額		255,672 千円
うち令和3年度繰越事業		42,815 千円

事業名	①事業の概要 ②経費内訳 ③積算根拠 ④事業の対象	経済対策区分	事業開始	事業終了	計画額 (円)	交付金充当額 (円)	成果及び評価 ①成果 ②評価	課題及び方向性 ①課題 ②今後の方向性
休業要請協力金事業	①コロナウイルス感染症拡大防止を目的とする。 ②県の感染拡大防止対策として、一定の期間における事業の休業、営業時間の短縮の要請に協力していただいた事業者に対する支援 協力金 1 事業者当たり 500 千円 ③500 千円/1 事業者×52 事業者×1/3(町負担割合) =8,666 千円 ④岐阜県	Ⅱ-3. 事業継続に困っている中 小・小規模事業者等への支援	R2.6	R3.3	8,666,000	8,138,000	①事業費 8,138,856 円 岐阜県への負担金 ②岐阜県の休業要請協力金に対し負担金を支払った。町内の感染症防止に効果があった。	①飲食店の時短営業や、酒類の提供自粛については、全店舗にて協力していただいている。事業を継続しながら感染症対策を可能とする仕組みづくりが必要。 ②岐阜県と連携しながら感染症予防に努める。
事業者支援協力金事業	①コロナウイルス感染症拡大防止を目的とする。 ②当初要請期間(4/18～5/6)以降要請延長となった期間(5/7～5/15)における協力していただいた事業者に対する支援、及び感染防止対策等に対する支援(町単独) 協力金 1 事業者当たり最高 80 千円 ③80 千円×38 事業者≒3,000 千円 Fその他 岐阜県新型コロナウイルス感染症対応地域の活力補助金 1,400 千円 ④町内事業者	Ⅱ-3. 事業継続に困っている中 小・小規模事業者等への支援	R2.6	R12.12	3,000,000	1,580,000	①事業費 2,980,000 円 ・休業協力金 5 万円×32 件 1,600,000 円 ・感染防止対策助成金 3 万円×46 件 1,380,000 円 ②事業者の感染症防止に対する経費に補助した。町内企業等の感染症拡大防止に効果があった。	①休業要請ではなく、事業を継続できる仕組み作りが必要。 ②長期化した場合には、再度補助制度を検討する。
雇用調整支援事業	①コロナウイルス感染症拡大防止 ②売上が減少した事業者が休業手当を支給して従業員を休ませた場合の費用や申請に係る手続き費用を助成し、従業員の雇用の維持を図る。 雇用調整助成金の一部負担 ③町負担分(県の事業所数の按分による) Fその他 岐阜県雇用調整助成金支給市町村奨励金 300 千円 ④町内事業者	Ⅱ-1. 雇用の維持	R2.9	R3.5	1,350,000	309,000	①事業費 367,000 円 ・安八町雇用調整助成金 117,000 円 1事業所 3回 ・安八町雇用調整助成金 申請助成金 250,000 円 5 事業所 ②町内企業の雇用維持に寄与した。	①国の制度に合わせて上乗せ補助を行った。幅広い事業者を対象とした制度が必要。 ②長期化した場合には、再度補助制度を検討する。
地域活性化	①プレミアム商品券を発行し、地域経済の活性化、事業者支援を図る。②プレミアム商品券印刷、販売他③プレミアム商品券販売 3 千円×3 冊/世帯×5,500 世帯 =49,500 千円 その他経費 6,463 千円 Fその他 岐阜県新型コロナウイルス感染症対応地域の活力補助金 2,300 千円 指定寄付金 530 千円 プレミアム商品券販売代金 33,000 千円④町内事業者他	Ⅲ-2. 地域経済の活性化	R2.9	R3.3	55,963,000	12,968,000	①事業費 38,026,026 円 ・換金実績 33,390,300 円 ・利用率 発行限度 68.56% ②町内の商店等で利用がされ、地域経済の活性化につながった。	①利用率の向上 ②プレミアム率の見直し、キャッシュレス決裁などの工夫が必要。

事業名	①事業の概要 ②経費内訳 ③積算根拠 ④事業の対象	経済対策区分	事業開始	事業終了	計画額 (円)	交付金充当額 (円)	成果及び評価 ①成果 ②評価	課題及び方向性 ①課題 ②今後の方向性
農業構造の強靱化	①農業機械等の導入を支援し、作業の省力化と効率化を促進し、強靱な農業構造の構築を図る。 ②農業機械導入費 ③田植え機、除草剤散布機、レーザーレベラー他 Fその他 スマート農業技術導入支援事業補助金 1,175 千円 元気な農業産地構造改革支援事業補助金 1,439 千円 ④営農組合	Ⅲ-2. 地域経済の活性化	R2.7	R2.10	5,750,000	3,129,000	①事業費 5,738,000 円 (農)クリーンファームまき (農)あんばち北部 ②2団体に農業機械購入に対し、補助金を支出した。農業経営の高度化による、食糧自給率向上、経営体の育成に努めた。	①農業の担い手育成が急務となっている。 ②継続的に補助を実施し、経営体の育成に努める。
地域の名産品魅力発信事業	①特産品のパッケージのデザインを一新し、まちの魅力の発信を強化し、まちの活性化に努める。 ②パッケージ作成委託 ③3,000 千円 Fその他 岐阜県新型コロナウイルス感染症対応地域の活力補助金 700 千円 ④事業者	Ⅲ-2. 地域経済の活性化	R2.6	R3.3	3,000,000	1,505,000	①事業費 2,205,500 円 ・漬物パッケージ 1万枚 ・うどんパッケージ 1万枚 ・梅干しパッケージ 1万枚 ②農産物加工運営委員会の特産品のパッケージを作成した。道の駅などで新パッケージにて特産品販売を始めている。	①アフターコロナにおける町の魅力発信に向けて、継続的に事業を実施する。 ②イベント開催時には、積極的に発売しPRにつとめる。
インドア花いっぱい応援事業	①こども園、小・中学校等に花きを設置し、園児、児童・生徒のストレス緩和に繋げる。 ②花き購入費(プランター) ③2,500 円×200 個=500 千円 ④ー	I -8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	R2.5	R2.8	500,000	499,000	①事業費 499,950 円 ②学校5校、こども園6園に花を設置した。通園することも達し、安らぎを与えることができた。	①休校など、学びの場を制限されている子どもたちに、常に心のケアが必要。 ②心のケアができる体制を検討したい。
遠隔・オンライン学習の環境整備	①「1人1台端末」の早期実現や、家庭でも繋がる通信環境の整備など、「GIGAスクール構想」を進めることで、災害や感染症の発生時等においても、子供たちの学びを保障できる環境を整備する。 ②「1人1台」の端末の整備(小学校3校、中学校1校) ③端末整備(4校、国庫補助対象分 724 台) ④ー	Ⅳ-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	R2.6	R3.3	36,187,000	30,000,000	①事業費 54,734,422 円 ・総整備台数 1184 台 ※別途国庫補助分を含む ②GIGA スクール構想による、1人1台端末を整備できた。	①通信環境が弱く、オンライン授業が実施できない現象が発生している。 ②通信環境を改善し、オンライン環境の充実を図る。

事業名	①事業の概要 ②経費内訳 ③積算根拠 ④事業の対象	経済対策区分	事業開始	事業終了	計画額 (円)	交付金充当額 (円)	成果及び評価 ①成果 ②評価	課題及び方向性 ①課題 ②今後の方向性
子育て世帯支援活動事業	①子育て世帯の経済的支援、給食配膳時の感染予防、地元企業の活動支援として、昼食として学校給食に代えパック弁当を提供する。 ②パック弁当、牛乳、デザート購入代 ③パック弁当 延べ 9,893 食 1,719 千円 牛乳 延べ 7,986 本 405 千円 デザート 延べ 7,986 食 497 千円 Fその他 東安中学校負担金 479 千円 ④こども園園児、小・中学生	Ⅱ-4. 生活に困っている世帯や個人への支援	R2.5	R2.9	2,621,000	2,139,000	①事業費 2,618,479 円 ・こども園 1,911 食分 ・小中学校 7,982 食分 ②分散登校(分散授業)が実施された時期に、昼食を提供し、子育て世帯の支援を行った。給食配膳時の感染防止や、変則的な事業開始時間により、保護者の負担を軽減できた。	①こども園、 ②―
高校生医療費無料化	①子育て支援事業の一環として、高校生の医療費を無料化することにより、早期に医療機関で受診できる環境を整備し、感染予防・防止に繋げる。 ②無料化に向けた準備経費 システム改修 ③1,000 千円 ④高校生保護者	I-2. 検査体制の強化と感染の早期発見	R2.7	R3.3	1,000,000	1,000,000	①事業費 1,004,539 円 ・システム改修経費等 ②令和4年度から高校生世代医療費無償化事業を開始するための準備ができたコロナ禍における、子育て世帯を支援することができた。	①― ②事業を継続的に実施する。
移動式冷風機、発電機整備	①保育、授業において密接状態を回避し、分散させることを目的に移動式エアコンを整備する。 ②移動式冷風機、インバータ発電機購入費 ③移動式冷風機、インバータ発電機 273,790 円×30 台=8,213 千円 ④事業者	I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	R2.6	R2.9	8,213,000	8,213,000	①事業費 8,213,700 円 ・移動式冷風機 30 台 ・発電機 30 台 ・並列コード 15 台 ・携行缶 30 個 ②冷風機により、授業や保育中に換気をしながら、酷暑対策ができた。	①― ②換気が必要な場所で積極的に活用する。今後は、防災対策としても活用する。
こども園、小・中学校学校給食費助成	①子育て世帯の経済的支援として、学校給食費 1 ヶ月分を助成する。 ②学校給食費助成(1 ヶ月分) ③こども園 1,500 千円 小学校 3,800 千円 中学校 2,500 千円 ④子育て世帯	Ⅱ-4. 生活に困っている世帯や個人への支援	R2.9	R3.3	7,800,000	7,185,000	①事業費 7,185,441 円 ・小中学校 1,311 食 5,685,441 円 ・こども園 1 月分 2,000,000 円 ②学校給食費、こども園給食費を1か月分無償化した。コロナ禍における、子育て世帯を支援することができた。	①― ②長期化した場合には、他の支援体制を整えたい。
こども園エアコン設置	①「新しい生活様式」を踏まえ、社会的な環境の整備の一環として、こども園にエアコンを設置する。 ②エアコン設置費(6 こども園) ③エアコン設置費 50,000 千円(6 こども園) ④町内こども園(6 園)	I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	R2.7	R3.3	50,000,000	46,519,000	①事業費 46,519,000 円 ・こども園エアコン設置 ②保育室エアコン設置率 100%となった。分散にて昼寝等ができるようになり、三密を避けることができた。	①― ②―

事業名	①事業の概要 ②経費内訳 ③積算根拠 ④事業の対象	経済対策区分	事業開始	事業終了	計画額 (円)	交付金充当額 (円)	成果及び評価 ①成果 ②評価	課題及び方向性 ①課題 ②今後の方向性
こども園施設補強整備	①「新しい生活様式」を踏まえ、避難所としての指定もあり、社会的整備の一環として、老朽化が著しいこども園施設を補強する。 ②こども園補強 ③こども園補強工事費 30,000 千円(3 こども園) ④町内こども園(3 園)	I -8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	R2.7	R3.3	30,000,000	26,620,000	①事業費 26,620,000 円 ・森部こども園施設改修工事 ②近くに指定避難所のない、老朽化が進んでいる森部こども園を改修した。第2期工事完了後、避難所としての活用ができる。	①第2期工事が完成していない。 ②令和4年度当初に第2期工事としてコミュニティセンターとして改修する。
学校、生涯学習施設感染防止対策	①「新しい生活様式」を踏まえ、学校、生涯学習施設での感染防止対策を講じる。 ②パーティション、図書消毒機他 ③パーティション他 3,050 千円 図書消毒機 1,950 千円 ④町内小・中学校(5 校)、生涯学習施設(ハートピア安八)	I -1. マスク・消毒液等の確保	R2.9	R3.3	5,000,000	4,390,000	①事業費 4,561,678 円 ・アクリルパーティション 110 個 514,019 円 ・図書消毒機 学校 5台、ハートピア安八2台 1,771,000 円 ・児童館おもちゃ消毒機 1台 291,500 円 ・その他体温計等 1,985,159 円 ②学校、ハートピア安八における衛生用品を購入した。学校、生涯学習施設での感染症予防に効果があった。	①今度も継続的に衛生用品が必要となる。 ②継続的に確保する。
非接触型水道蛇口への取替え	①「新しい生活様式」を踏まえ、感染防止策として、こども園、小・中学校の水道蛇口を非接触型へ取り替える。 ②水道蛇口の非接触型への取替え ③こども園(6 園) 113 箇所×@2,000 円=226 千円 小・中学校(5 校) 1,000 箇所×@2,000 円=2,000 千円 ④町内こども園(6 園)、小・中学校(5 校)	I -1. マスク・消毒液等の確保	R2.9	R3.3	2,226,000	1,694,000	①事業費 2,145,000 円 ・小学校蛇口取替 557 個 ・中学校蛇口取替 430 個 ・こども園蛇口取替 113 個 ②こども園、学校の蛇口を非接触型に交換した。こども園、学校の感染症拡大予防に寄与した。	①ー ②ー
防災服等更新	①緊急時、災害時において迅速に活動できるよう、機動性を発揮できる機能を有する職員等防災服、女性防火クラブ活動服を更新する。 ②防災服、活動服の更新 ③職員等防災服 180 人×@8 千円=1,440 千円 女性防火クラブ活動服 150 人×@5 千円=750 千円 ④事業者	I -1. マスク・消毒液等の確保	R2.9	R3.3	2,190,000	1,452,000	①事業費 1,457,583 円 ・女性防火クラブ活動服 150 着 ・職員防災服 150 着 ②有事で活動できるように女性防火クラブ活動服、職員の防災服を購入した。訓練時等に活用している。	①退団、退職等により新規での購入が必要となる。 ②コロナ対策については、服装を清潔に保つことが必要であり、今後も継続的に整備する。

事業名	①事業の概要 ②経費内訳 ③積算根拠 ④事業の対象	経済対策区分	事業開始	事業終了	計画額 (円)	交付金充当額 (円)	成果及び評価 ①成果 ②評価	課題及び方向性 ①課題 ②今後の方向性
町単独特別定額給付金事業	①国の定額給付金制度対象以降の出生者世帯に対し、経済的支援の一環として1人当たり10万円を給付する。 ②町単独定額給付金(出生者 R2.4.28～R3.4.1) ③70人×100千円=7,000千円 ④給付対象期間内出生者	Ⅱ-4. 生活に困っている世帯や個人への支援	R2.9	R3.4	7,000,000	令和2年度 5,800,000 令和3年度 100,000	①事業費 5,900,000円 ・59人×10万円 ②新生児59人の保護者に対して10万円を支給した。子育て世帯への経済支援を行った。	①継続的に事業を実施することの検討が必要。 ②令和4年度からは、新生児に対して5万円の給付を開始する予定。
学校消毒作業委託	①小中学校、放課後児童クラブの消毒作業を外部発注し、教員・指導員の業務軽減をはかる。 ②作業委託 ③1000千円×5回×1.1 ④結小学校、名森小学校、牧小学校、登龍中学校、放課後児童クラブ	①-Ⅰ-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	R3.1	R3.3	5,500,000	4,800,000	①事業費 5,088,325円 ・学校 5校 ・放課後児童クラブ 1施設 ②学校5校、放課後児童クラブ1施設の消毒作業を実施した。教員、指導員の業務軽減及び、感染症拡大防止に寄与した。	①学校、こども園、児童クラブ、児童館等消毒作業にかかる負担が増加している。 ②今後も適宜、外部委託を検討しながら、消毒作業を実施する。
ホームページリニューアル事業	①公式ホームページ多言語化をはじめとした改修をすることで情報発信力を強化し、コロナ感染状況や感染症対応の情報提供を迅速に実施する。 ②サーバーの構築、システム構築に係る経費 ③サーバー構築費 600千円 CMS構築費 3,400千円 サイトデザイン 2,500千円 検証作業費 700千円 その他諸経費等 2,800千円 ④事業者	①-Ⅰ-6. 情報発信の充実	R3.8	R4.3	10,000,000	令和3年度 9,020,000	①事業費 9,020,000円 ・安八町公式ホームページリニューアル業務 ②ホームページをリニューアルし、コロナ感染症等の情報を広く周知できる環境が整備できた。 構築に時間がかかったが、アクセシビリティ対応のホームページを公開できた。	①情報発信を継続する。 ②適宜、必要な情報発信ができるように体制を整備する。
国土強靱化・BCP策定事業	①コロナ禍における国土強靱化計画の策定及び業務継続計画を策定する。迅速な災害対応および役場業務を可能とする。 ②計画策定に係る業務委託 ③国土強靱化計画 3,000千円 BCP 3,000千円 道路インフラ管理システム 6,000千円 計 12,000千円 ④事業者	①-Ⅳ-4. 公共投資の早期執行等	R3.4	R4.3	12,000,000	令和3年度 10,113,000	①事業費 10,113,400円 ・国土強靱化・業務継続計画策定支援業務 ・道路台帳デジタル化業務 ②国土強靱化計画の策定をするともに、コロナ禍における、業務継続計画を策定した。基盤となる道路インフラを管理するシステムを導入した。 コロナ禍における災害時で必要となる各種計画を策定した。道路台帳もデジタル化することにより、有事でも迅速な対応が可能となった。	①計画に基づく、行動の実施。 ②有事の際に迅速に対応できるよう計画にもとづく訓練を実施する。

事業名	①事業の概要 ②経費内訳 ③積算根拠 ④事業の対象	経済対策区分	事業開始	事業終了	計画額 (円)	交付金充当額 (円)	成果及び評価 ①成果 ②評価	課題及び方向性 ①課題 ②今後の方向性
デジタル化推進に向けた押印廃止事業	①行政デジタル化推進に向けた押印廃止体制の整備 ②例規整備に係る経費 ③見直し整備支援業務 2650 千円 例規データオンライン化 350 千円 ④事業者	①-Ⅳ-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	R3.4	R4.3	3,000,000	令和3年度 2,706,000	①事業費 2,706,000 円 ・行政手続きにおける書面規制、押印、対面規制の見直し支援業務 ・例規サポートシステム運用委託 ②令和4年3月に関係条例を制定した。押印廃止することにより、接触機会の軽減、デジタル化の推進が図れた。	①デジタル化に向けた体制整備。 ②デジタル化に向けた、例規整備をすすめる。
学校保健特別対策事業費補助金	(学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業) ①学校における新型コロナウイルス感染症拡大防止を目的とする。 ②感染予防に必要な備品及び消毒等の購入費 ③指手消毒液、次亜塩素酸水等 2,700 千円 タッチペン 800 円×1,600 本=1,300 千円 ④結小学校、名森小学校、牧小学校、登龍中学校、	①-Ⅰ-1. マスク・消毒液等の確保	R3.3	R3.3	4,000,000	1,997,000	①事業費 3,993,047 円 ・石鹼、消毒液 2,875,447 円 ・タッチペン 1,117,600 円 ②学校における衛生用品を購入した。学校での感染症予防に効果があった。	①今度も継続的に衛生用品が必要となる。 ②継続的に確保する。
休業要請協力金事業(第2弾)	①新型コロナウイルス感染症拡大防止を目的とする。 ②県の感染拡大防止対策として、一定の期間における事業の休業、営業時間の短縮の要請に協力していただいた酒類を提供する飲食店に対する支援 協力金 1 事業者当たり 500 千円 ③40 千円×20 店舗×25 日×5%(町負担割合) =1,000 千円 ④岐阜県	Ⅱ-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	R2.12	R3.3	1,000,000	900,000	①事業費 900,000 円 ・岐阜県への負担金 900,000 円 ②岐阜県の休業要請協力金に対し負担金を支払った。町内の感染症防止に効果があった。	①飲食店の時短営業や、酒類の提供自粛については、全店舗にて協力していただいている。事業を継続しながら感染症対策を可能とする仕組みづくりが必要。 ②岐阜県と連携しながら感染症予防に努める。
予防接種体制整備事業	①新型コロナウイルスワクチン接種会場となる中央公民館、保健センターの段差解消、救急車搬入口を整備 ②アスファルト舗装にかかる経費、段差解消にかかる経費 ③1,700 m ² ×7 千円≒12,000 千円 ④中央公民館、保健センター	②-Ⅰ-3. ワクチン接種体制の整備、治療薬の開発等	R3.4	R3.6	12,000,000	令和3年度 12,000,000	①事業費 13,284,700 円 ・予防接種会場周辺整備工事 13,284,700 円 ②保健センター北側および中央公民館北側の段差を解消し、緊急車両の進入路を整備した。ワクチン接種会場となり、救急車等の進入できる体制を整備できた。	①ワクチン接種が長期化した場合、その他整備が必要となる。 ②3回目のワクチン接種が始まっており、4回目以降の体制を検討する必要がある。

事業名	①事業の概要 ②経費内訳 ③積算根拠 ④事業の対象	経済対策区分	事業開始	事業終了	計画額 (円)	交付金充当額 (円)	成果及び評価 ①成果 ②評価	課題及び方向性 ①課題 ②今後の方向性
地域の名産品魅力 発信事業	①特産品のための機械を購入し、地域団体やNPOなどと連携による特産品を開発し、まちの活性化に努める。 ②新規産品開発機器導入 ③冷凍倉庫等 700 千円等 ④事業者	Ⅲ-2. 地域経済の活性化	R3.2	R3.3	800,000	800,000	①事業費 800,030 円 ・ふれあいセンター冷蔵庫購入 ②農産物加工運営委員会の特産品開発のため冷蔵庫1台を購入した。物産展は開催されていないが、特産品開発のため活用している。	①アフターコロナにおける町の魅力発信に向けて、継続的に事業を実施する。 ②イベント開催時には、積極的に発売しPRにつとめる。
学校保健特別対策 事業費補助金	(学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業) ①「新しい生活様式」を踏まえ、学校、生涯学習施設での感染防止対策を講じる。 ②サーモグラフィー ③サーモグラフィー 4,086 千円 ④町内小・中学校(4 校)	I -1. マスク・消毒液等の確保	R2.12	R3.3	4,086,000	1,290,000	①事業費 2,579,500 円 ・小中学校にサーモグラフィ 10 台を購入した。 ②学校、生涯学習施設での感染症予防に効果があった。	①今度も継続的に衛生用品が必要となる。 ②継続的に確保する。
防災備蓄品購入事業	①コロナ禍の災害発生時における分散避難に備え非常食を購入する。 ②災害用非常食購入 ③非常食用パン 317 千円 非常食用うどん 529 千円 非常食用ごはん 992 千円 非常食カレー 72 千円 非常食ミルク 235 千円 ④事業者	①- I -1. マスク・消毒液等の確保	R3.4	R4.3	2,145,000	令和3年度 2,085,000	①事業費 2,085,804 円 ・備蓄品購入 α米(各種) 3,300 食 アレルギー対応ミルク 56 缶 命の安心パン 600 食 フォー(米めん) 1,000 食 カレー(甘口・中辛) 120 食 おみそ汁 540 食 スープ 1,020 食 ハンバーグ煮込み 500 食 肉じゃが 500 食 カレーライスセット 330 食 ②非常食を購入した。コロナ禍における避難所の分散のため、非常食を準備することができた。	①今度も継続的に備えが必要となる。 ②継続的に確保する。